

派遣審判を終えて

・ ・ 県 ・ ・ 市で行われた「全国・・・バレーボール大会」に派遣審判員として行って参りました。前年の・ ・ 県での・ ・ 大会に続き二度目の全国派遣となりました。なかなか経験できる事ではないので、送り出して頂き感謝の気持ちでいっぱいです。・ ・ 県までは、新幹線を乗り継いで六時間の長旅でした。・ ・ 県からの派遣審判員である・ ・ さんと一緒に行くこととなり、不安な気持ちはどこかに吹き飛び、会話をはずませ、『いざ、・ ・ へ！』審判を含め、美味しい食べ物、温泉など全部を楽しんでこられたらいいな、と思っていました。悠長なのは東の間。会場へ入り連盟の皆さん、全国から集結した派遣審判員の皆さんと顔を合わせたたん、緊張感が漂ってきました。大会本番は、試合前のミーティングから始まります。審判団全員で試合をスムーズにお手伝いしようと目を輝かせて挑みました。一点一点が緊張の連続で、集中力との根競べでした。一試合終えるごと感想を言い合ったり、励ましあったりと心を通い合わせ自然に絆が深まっていきました。

全国連盟の・ ・ 審判長が、「思いが通じ合う事を楽しんで審判してみてください。」とおっしゃいました。主審と副審では、「今のは、この反則でいいよね。」などをアイコンタクトや頷きで、思いを通わせて審判する事が、醍醐味なのだそうです。審判とは、奥深いもだと感じさせられました。貴重な経験をこれからの審判に生かしていけたらいいなと思います。また、体験した事を伝えて一人でも多くの審判員を育てる事が派遣の恩返しになるのかなと思います。様々な励ましを頂き感謝申し上げます。ありがとうございました。